

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2013-530656(P2013-530656A)

【公表日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-040

【出願番号】特願2013-518709(P2013-518709)

【国際特許分類】

H 04 R 31/00 (2006.01)

H 04 R 11/02 (2006.01)

【F I】

H 04 R 31/00 Z

H 04 R 11/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月24日(2014.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

バランスドアーマチャトランステューサ組付体を形成する方法であって、ドライブピンを形成するフィードワイヤを、リードのワイヤ接触点上に位置特定することと、

前記リードを溶融して前記フィードワイヤの第1端を前記リードの中に進行させることによって、前記フィードワイヤの第1端を前記リードに溶接することと、

前記フィードワイヤを切断して前記ドライブピンを形成することと、

前記ドライブピンをパドルに固定することと

を含む方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

バランスドアーマチャトランステューサ組付体を形成する方法であって、ドライブピンを形成するフィードワイヤをリードにおいて、前記リードを前記フィードワイヤに接触させることによって位置特定することと、

前記リードを第1レーザにより溶融して前記フィードワイヤの第1端を前記リードの中に進行させることによって、前記フィードワイヤの第1端を前記第1レーザにより前記リードにレーザ溶接することと、

第2レーザにより前記フィードワイヤをレーザ切断してドライブピンを形成することと、

前記ドライブピンをパドルに接着することと
を含む方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 4】

ドライブピンをバランスドアーマチャントランスデューサのリードに形成する方法であつて、

フィードワイヤをリードのワイヤ接触点に接触させて配置することと、

前記リードに熱源を向けて前記ワイヤ接触点に近接する前記リードの一部を液化することと、

前記フィードワイヤを前記リードの液化された前記一部の中に進行させることと、

前記リードの液化された前記一部を凝固させて前記リードと前記フィードワイヤの間に溶接部を形成することと

を含む方法。